

2011年度報告書（COE 教員）

氏 名	安里和晃
職 位	特定准教授
<p>研究概要</p> <p>主に経済連携をめぐる看護・介護部門における日本の受け入れ状況と、インドネシア、フィリピンにおける送り出し状況について、GCOE、厚生労働科研と笹川助成金研究を用いて研究を継続した。また日本国内における外国人住民における介護職への従事の実態についても研究を行った。これらについては7か所全国各地で実践者会議やワークショップ、フォーカスグループディスカッションを実施した。こうした成果については200ページ余りの報告書を英語と日本語で作成した。</p> <p>コアプロジェクトにおいて移動班を担当し、出版に向けて研究会などを組織した。また「老いるアジアの担い手問題」、および「多文化社会とケア」という研究会を組織し、出版に向けて研究に従事した。両方ともGCOEより出版を計画しているところである。</p>	
<p>教育概要</p> <p>GCOEにおける教育プログラムの企画・実施に従事した。主に東アジアジュニアワークショップ、次世代グローバルワークショップ、国際会議の企画・実施等を挙げるができる。前者の東アジアジュニアワークショップは従来の台湾大学に加え、ソウル大学も加わった。また学生支援機構のSSSVプログラムの獲得により23名の報告と3名の教員による基調講演があり充実したものとなった。後者については初めてのソウルでの開催となり、41名が報告を行った。従来と同じく外国語学習支援制度、英文校閲、発表演習などを行い、英語での発表に無理のない教育支援体制をとった。授業は英語講読、オムニバス講義(日本語)を担当した。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>Asato Wako, “Demographic change and international migration of ‘gendered work’”, in “Globalisation at the cross-roads: Science, Innovation, Work in France and Japan”, Nov. 3-4, Strasbourg, France.</p> <p>「第3回 TPP/EPA・福祉再編と老いるアジアの担い手」中川正春内閣府特命大臣世話人勉強会「全員参加型社会に向けた外国人政策——人口構成の変化・災害・経済危機」国会議員会館。</p> <p>“Emerging social integration policy in Japan and ethnic relations: who cares the superaged society”, in International Metropolis Conference, September 12-16, 2011, Azores Portugal.</p> <p>「アジアで始まった移民争奪戦：ケアを支える外国人女性たち」太田市国際交流協会20周年記念事業、太田市、2011年9月18日。</p> <p>「少子・高齢・人口減少社会における持続可能な社会に向けた政策提言」NPO法人アジア</p>	

ン・エイジング・ビジネスセンター主催「介護・看護サービスと福岡の未来～これからの要  
介護高齢者を支えるのは誰か？ アジアの高齢化の現状とこれから～」2011年12月5日、  
福岡市。